

大妻タイムズ

OTSUMA TIMES

CONTENTS

新所長ご挨拶	1
地域との交流	2
公開講座	3
Oxford EMIプログラム	4
地域連携プロジェクト	6
地域貢献プロジェクト	7
募金のご案内	8

TOPIC

＜ 新所長ご挨拶 ＞

地域連携推進センター所長 小川 浩

大妻女子大学は、千代田キャンパスと多摩キャンパス、2つのキャンパスを有し、それぞれにおいて地域住民の皆さま、行政機関、企業をはじめとする事業所の皆さまなどにお世話になり、さまざまな連携のもとに教育・研究などの活動を行っています。それらの地域連携・地域貢献のニーズに対する対外的窓口となり、学内の英知や学生の活動を取りまとめ、地域や産業界と大学をつなぐ橋渡し役となることをミッションに設置されている組織が地域連携推進センターです。

地域連携・地域貢献と言ってもその対象と内容は多岐にわたります。対象は、地理的に近接する「場」を超えて、ICTなどでつながることのできるステークホルダーすべてが含まれる時代です。また、連携や貢献にかかわる内容も、単に大学から情報を発信することや、大学施設などの有効活用を図ることだけでなく、地域課題を共に解決する活動や、大学と地域の人的交流のもとに研究や教育を進める活動、大学の財産である学生の発想力や行動力を地域に活かす活動など、大学と地域の「協働」という視点がますます重要になっています。

千代田キャンパスと多摩キャンパスは、キャンパスを取り巻く環境が大きく異なりますが、それぞれ、千代田区、多摩市をはじめ、周辺の自治体や住民の方に支えられ、共に歩んできた歴史がキャンパスの雰囲気と文化

を形作っています。これからも地域連携推進センターを中心に、行政、地域住民、産業界などの大学に対するニーズを的確にキャッチできるようにアンテナを鋭敏にし、大学と地域が「協働」しつつ、共に成長していけるよう努力して参ります。



大妻女子大学副学長
地域連携推進センター所長 小川 浩

地域との交流

2021年春の花植え活動報告【アダプト活動】

【千代田キャンパス】

2021年6月24日（木）に、大妻女子大学の学生およそ100名、千代田区、地元三番町町会、（株）プランナーワールド、子育て広場「あい・ぽーと麹町」、千代田区社会福祉協議会が連携・協力し、翌6月25日（金）には大妻中学高等学校の生徒が三番町町内の歩道に春の花植え活動を行いました。

初日は、家政学部児童学科の学生がグループに分かれ、それぞれのグループが色の組み合わせや配置を話し合いながら花を植えました。2日目の午前中には大

雨が降っていましたが、午後の活動時間には、すがすがしい快晴となり、真夏のような空のもと、園芸部の生徒9名が参加しました。前年度、花植え活動に参加した上級生が中心となり、後輩に教えながらの活動となりました。「番町学園通り」「大妻通り」に設けられた約90カ所の植樹樹（ます）は、マリーゴールド、ポーチュラカ、ニチニチソウ、トレニアといった鮮やかな花（2,500鉢）でいっぱいになり、すてきな三番町がさらに明るい町になっているような気がしました。



※コロナ禍での活動となるため、新型コロナウイルス感染症に対する予防策をしっかりと講じたうえで実施しました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年参加している九段小学校児童・九段幼稚園児は参加を控えました。

【多摩キャンパス】

毎月第3土曜日（10:00-11:30）に、唐木田コミュニティセンター（からきだ菖蒲館）まちづくり部会の方々と実施しているアダプト活動に、7月17日多摩キャンパスの学生7名が参加しました。

当日は朝から晴天真夏日。暑い中での活動となりましたが、熱中症・感染症に注意しながら90分間、力を合わせて唐木田駅前のフラワーポットに「ジニア」「インパチェンス」を無事植え替えました。



アダプト活動とは

市民と行政が協働で進める街の美化プログラムのことで、アダプト(Adopt)は「養子にする」を意味する英語です。公共の場所を養子にみたと、市民がわが子のように愛情をもって世話(清掃美化)をし、行政がこれを支援する制度のことです。

参加者の感想 (多摩キャンパス)

7月17日当日はととても暑いだけでなく日差しも強く、参加者7名の体調不良を危惧していました。しかし、からきだ菖蒲館の方々が細やかに気を配ってくださり、スポーツドリンクの差し入れをいただき、こまめな水分補給休憩をとるなどし、体調不良者が出ることもなく終わることができました。また、菖蒲館の方々を含めて学年も年齢も違うため、最初は心配もありましたが、皆さんが気さくに話しかけてくださり、とても有意義な時間を過ごすことができました。



TOPIC

公開講座

千代田区キャンパスコンソ 2021年度 共同公開リレー講座「ちよだで学ぶ」

千代田区キャンパスコンソでは、
千代田区在住・在勤・在学者を対象とした下記の公開講座を実施しました。

「千代田キャンパスコンソ」とは、千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアムのことで、千代田区内の徒歩圏にキャンパスを有する5大学（大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部、共立女子大学・共立女子短期大学、東京家政学院大学、二松学舎大学、法政大学）が2018年4月に設立したコンソーシアムです。「単位互換」や「地域向けイベント」などさまざまな活動を行うとともに、千代田区や地域産業界（千代田区商工業連合会）等とも連携・協力し、徒歩圏（近接地）のメリットを活かした多くの取り組みを行っています。

●公開講座一覧

講座名	主催大学	開講日	講師
〈オンデマンド〉 胎児期からの栄養と将来の生活習慣病	東京家政学院大学	6月12日(土)	人間栄養学部教授 原 光彦
〈オンデマンド〉 千代田城大奥と武家女性の衣生活	共立女子大学	6月30日(水) ～7月29日(木)	家政学部教授 博物館館長 長崎 巖
〈オンラインZOOM〉 シンポジウム「都市の表象文化 アニメ・特撮における東京」	法政大学	7月17日(土)	国際文化学部教授 岡村 民夫 他
〈オンデマンド〉 我が国の公的年金保険についての 理解のポイント	大妻女子大学 短期大学部	8月2日(月) ～9月1日(水)	家政科教授 玉木 伸介
〈オンラインZOOM〉 研究会「東京と今和次郎 -「動き」としての惑星都市論-」	法政大学	7月31日(土)	江戸東京研究センター特任教授 陣内 秀信(コメンテーター) 他
〈オンラインZOOM〉 シンポジウム 「玉川をめぐる名水と歴史と景観」 ～『中世武蔵国絵図』の読み解き～	法政大学	8月28日(土)	江戸東京研究センター客員研究員 神谷 博(パネルディスカッション登壇者) 他
〈オンラインZOOM〉 食品ロス削減とフードバンク・ 子ども食堂支援-生活協同組合の活動を中心に-	東京家政学院大学	9月4日(土)	現代生活学部教授 上村 協子
〈オンデマンド〉 美しいものには理由がある ～構成学で考える形と色の世界～	共立女子短期大学	9月15日(水) ～10月14日(木)	生活科学科教授 三井 直樹
〈オンデマンド〉 二松学舎大学所蔵・ 渋沢栄一晩年の書と向き合いながら	二松学舎大学	9月1日(水) ～9月30日(木)	副学長 文学部教授 福島 一浩
〈オンデマンド〉 昌平坂学問所と論語と渋沢栄一	二松学舎大学	9月1日(水) ～9月30日(木)	文学部教授 市来 津由彦
〈オンデマンド〉 やわらかアタマで取り組む"防災"	大妻女子大学	10月11日(月) ～10月31日(日)	人間関係学部准教授 堀 洋元
〈オンデマンド〉 パーパス経営の原点を探る	法政大学	10月23日(土) 11月13日(土) 12月11日(土)	人間環境学部教授 長谷川 直哉 他
〈法政大学 市ヶ谷キャンパス〉 シンポジウム 「落語がつくる『江戸東京』イメージ」	法政大学	11月23日(火・祝)	社会学部教授 金原 瑞人 他

Oxford EMIプログラム

Oxford EMIプログラム参加報告

千代田区キャンパスコンソ主催公開ファカルティ・ディベロップメントとして、第2回Oxford EMIプログラムが2021年8月27日(金)～9月3日(金)の6日間にわたってオンラインで実施されました。Oxford EMIプログラムとは、イギリスのオックスフォードEMI (English Medium Instruction) Training 講師が提供する、主に大学教員を対象とした英語による教授法の向上を目指すプログラムです。さまざまなレベルの学生のための授業の組み立て方、理解を深める教授技法など、EMIの理論と実践を、講義、グループワーク、ディスカッションなどを組み合わせた形式で学ぶことができます。ここでは本学からOxford EMIプログラムに参加した3名の教員の感想を紹介いたします。

開催日	2021年8月27日(金)～9月3日(金) ※8月28日(土)・29日(日)を除く6日間
参加人数	合計 21名(大妻女子大学2名、大妻女子大学短期大学部1名、共立女子大学2名、東京家政学院大学1名、二松学舎大学1名、法政大学4名、京都女子大学3名、神戸女学院大学2名、新潟県立大学2名、韓国科学技術院3名)

参加教員の感想

二兎を追える教育方法

国際センター 准教授 伊藤 みちる

EMI (English Medium Instruction)は、国際政治や文学、統計や縫製、心理学や栄養学、デザインや体育など、あらゆる科目を英語を媒介言語として行う専門教育方法で、世界各国の大学で急速に採択され始めています。Oxford EMI プログラムでは、国内外の大学のさまざまな専門領域を持つ教員と共に、講義、ディスカッション、グループワークから構成されたオンライン研修を受講し、EMIの理論と実践を学びました。インストラクターの指導は見事で、自身の日頃のオンライン授業のマネジメントのためにも学びが多かったです。

特に感銘を受けたのは、専門知識を十分に有さず、英語運用能力にも差がある学生を対象

に、「二兎(専門知識+英語)を追う者は一兎をも得ず」にならないように、周到的な準備のもとにインタラクティブな活動やテクノロジーを戦略的に駆使して展開するEMIの教育効果の可能性です。大学のグローバル化を通じ、さまざまな言語・文化を持つ学生が共に学ぶことで、多様な価値観が存在することを互いに認め、専門の学びを深めていけることが、EMIの最大の魅力でしょう。



先輩から後輩への リレーメッセージ 配信中



本学で学んだ先輩から後輩の皆さんへ動画でメッセージを配信しています。大妻女子大学と社会で活躍する本学卒業生の魅力を感じてください。

1980年3月 大妻女子大学
短期大学部 国文科 卒業

真々田 貴子



参加教員の感想

Oxford EMIプログラムに参加して 国際センター 専任講師 森 功次

2021年8月27日から9月3日の日程でOxford EMIの研修プログラムに参加し、日本各地の大学および、韓国のKAISTの先生方、総勢21名のメンバーと一緒に授業を受けました。

研修はOxfordのmoodleとzoomを利用してオンラインで行われました。毎日16時までに課題をアップロードし、18時からは一時間半、zoomでレクチャー&ディスカッションを行う、という形式でした。非常事態宣言下でしたので、すべて自宅から参加できたのはありがたかったです（また16時から18時までは強制的に作業から解放されるという点も、子育て中の身としては助かりました）。

私はまだ英語での授業を受け持った経験はないのですが、研修で学んだ授業設計のノ

ウハウは日本語での授業にも活かせるものが多く、ためになる研修だったと思います。特に、学生のモチベーションを高めるためのさまざまな工夫を学べたことは大きな収穫でした。各地の英語授業における苦労話をたくさん聞いたことも、良い経験になりました。この研修の成果を今後の授業に活かしていきたいと思っています。



参加教員の感想

Oxford EMIプログラムに参加して

短期大学部 家政科 生活総合ビジネス専攻 教授 池頭 純子

大学の国際化が求められる中、2019年8月に大妻女子大学で実施されたOxford EMIプログラムに参加する機会をいただきましたが、今回2度目の同プログラムがオンラインで行われ、参加させていただきました。前回は3日間対面で行われ、教授法について多くのことを学ぶことができました。

当時1年生必修の「ビジネスベーシック英会話I」を英語で行うようになって2年目で、多くの悩みを抱える中、大妻女子大学をはじめ、近隣の大学の先生方のご経験や問題意識を伺うこともでき、大いに刺激になるとともに、その後の授業運営に多少の改善を試みるきっかけとなりました。しかしながらプログラムについて十分に理解

できたとは言えず、その後も授業を英語で実施する中、改善の方法を模索しており、今回再度このプログラムを受講できたことで、改めて問題点、改善点を整理することができたように思います。

また今回はオンラインで実施されたため、オンライン授業という形態についての情報も多く得られ、さらに韓国の大学からも参加者があり、より国際化という問題が身近に感じられるプログラムでした。



地域連携プロジェクト

学生の主体性や自立心が身につく地域連携活動の一層の推進と発展を図ることを目的として、2013年度に「地域連携プロジェクト」を創設しました。「地域社会との連携を活性化するとともに、学生の教育に資する活動」をテーマに、2021年度は10件のプロジェクトが採択されました。

和装振興プロジェクト ～伝えよう!和服の魅力～

家政学部 被服学科 教授 阿部 栄子

和服を日本文化として捉え、伝統的な染織技術やコーディネートなど、和服の魅力を広く地域の方々に伝えることを目的とします。被服学科の卒業研究（和服製作）は数年前から“きものサローネ in 日本橋”において学生作品の優秀作品として公開展示されています。今年度も和装きもの3点が選定され、作品の展示とコーディネート、来場者への解説を学生が担当します。

保育の魅力を保護者に伝えるための、 少子化地域の行政との協働プロジェクト

家政学部 児童学科 准教授 石井 章仁

少子化が進行している千葉県東金市では、公立保育所・こども園の保育の質向上に取り組んでいます。しかし、保護者が変化を実感するまでには至らず、理解が進んでいません。本プロジェクトは、保育を学ぶ学生が行政職員や保育士等と協働し、取組の主旨や保育の魅力を保護者に伝えることを目指します。また、アイデアを出すだけでなく、学生が取材・編集し、保護者の目線に立った情報媒体を作成します。

三番町アダプトフラワーロードの会との 地域美化活動

家政学部 児童学科 教授 石井 雅幸

三番町の街路樹下のますに花を植え、管理を継続的に行う取組みです。本取組みは、千代田区と三番町会、三番町会に関係する企業・団体、大妻学院が集い、千代田区立九段小学校を中核において町を美しくする運動として実施しています。花を植える場所を拡大したり、日常的に町を美しくしたりする取組みも行います。本取組みを維持・管理していくための仕組みづくりや、活動をさらに推進します。

科学技術館との地域連携活動における 野外活動プログラムおよび学習用ワークシートの作成プロジェクト

家政学部 児童学科 常勤特任准教授 木村 かおる

博学連携推進のために、地域の科学館や自然体験活動で利用できるワークシートを作成するプロジェクトです。他の博物館などへの聞き取り調査、子ども向けの野外活動からワークシート作成の基礎データの検討を行い、現地での素材収集方法を習得します。さまざまな地域の教育活動において役立つワークシートを作成し、提供することを目的とします。

能登の里海を守る 海育実践と地域活性化プロジェクト

社会情報学部 社会情報学科 環境情報学専攻 教授 細谷 夏実

穴水町との協同活動を踏まえ、以下の課題に取り組めます。(1) 伝統的な人と自然の営みが保全され、世界農業遺産に認定された、能登半島での海育の取組み (2) 海育の貴重な体験場所となる里海保全についての理解や、地域活性化の助けとなる情報の発信 (3) 大学祭や牡蠣祭りなどで、能登の里海の重要性や利活用を広める発表展示

多摩ニュータウン松が谷プロジェクト推進と 寺子屋活動の推進

社会情報学部 社会情報学科 情報デザイン専攻 教授 炭谷 晃男

入居開始から45年を経た松が谷団地の再生を目指すために、八王子市の実証実験に参加しました。中学生にアンケートを実施し、松が谷で暮らし働く皆さんの笑顔の写真を集め「かしまつの樹を育てよう」を富士フィルムの協力を得てチェキを使い実施しました。秋以降には、地域の子どもたちや高齢者のためのイベントを実施し、地域住民が自らの新しい地域づくりをすすめる後押しをしていきます。

みんなで防災大作戦！ ～防災を日常に～

人間関係学部 人間関係学科 社会・臨床心理学専攻 准教授 堀 洋元

前期オンラインゼミで検討し、今年度は防災アプリの活用、多摩版防災カードゲームの作成、「だれにでも食べられる防災食」へのアレンジ、リサイクル活用による防災グッズづくりに取り組むことになりました。後期は対面授業が始まり、地域の方々のニーズをアンケートで収集したり話し合いを行い意見交換しています。今後は交流を深めながら、地域の方々に向けた体験型成果報告会を予定しています。

からきだ匠(たくみ)カフェ ～地域がつながる場所～

人間関係学部 人間関係学科 社会・臨床心理学専攻 准教授 八城 薫

毎月第4水曜日14時から唐木田駅近くにあるプラネットカフェまたはオンラインで開催しています。オンライン開催時は介護施設内にいる利用者さんから大学生までの多世代が一緒になって「ものしりとり」で楽しむことができました。緊急事態宣言が解除された10月の開催はプラネットカフェさんで「なりたい自分になるメイクセラピー」が開催されました。11月は「もしバナゲーム」を企画しています。

地域の多世代がつながる 味噌作りプロジェクト

短期大学部 家政科 食物栄養専攻 准教授 富永 暁子

千代田区近隣住民、在勤者を対象に、食の循環を意識してもらうことを目的に大豆の栽培・収穫から味噌作りまでの体験プログラムを提供します。大豆の栽培・収穫は専門家の協力を得て実施し、学内で仕込んで熟成した味噌は地域の児童福祉施設や高齢者施設等で利用してもらうなど、新たな地域連携を試みます。味噌作りを通して多世代がつながり、食や健康への意識向上を目指します。

持続可能な食を支える食育推進プロジェクト

短期大学部 家政科 食物栄養専攻 教授 堀口 美恵子

SDGs(持続可能な開発目標)の達成につながる食育活動を、主に千代田区民を対象に行います。「地球に優しいエコッキングレシピコンテスト」を開催し、身近な食物からSDGs達成につながる活動を実践します。大妻祭では、本プロジェクト構成員の学生が所属する「大妻女子大学食育ボランティアグループ ぴーち」の活動報告を行います。また、環境に配慮した農産物を生産している世羅町と連携した交流会も行います。なお、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、ZOOMを活用した食育活動、情報交換交流会なども実施予定です。

TOPIC

地域貢献プロジェクト

広く地域の皆さまへ大妻女子大学の教育と研究成果を還元し、皆さまの多様な学習ニーズに応えるとともに地域社会の教育、学術、文化の発展に貢献する活動の推進を図ることを目的として、2014年度からスタートしました。2021年度は2件のプロジェクトが採択されました。

健康な女性のための 「食・運動・医」オンライン講座の開設

家政学部 食物学科 教授 川口 美喜子

将来妊娠・出産を希望する人へ「夢をかなえるため未来へつなぐ～プレコンセプションケア支援～元気で楽しく素敵なママになろう～妊娠を希望する・妊婦に送るメニュー集」(以下メニュー集)を配布し、関心と理解について電子媒体でアンケートを実施します。結果を踏まえ「食・運動・医」にかかわるオンデマンド用映像を作成し、オンライン講座を行います。講座参加者へアンケートを行いメニュー集の改定も行います。

小学校の読書活動推進への貢献を図る 学生ブックソムリエの展開

家政学部 児童学科 准教授 樺山 敏郎

読書の秋という時機を捉え、11月に千代田区立麴町小学校を訪問し、学生がブックソムリエとなって児童に本の紹介や推薦を行います。ブックソムリエという用語は代表者が独自にネーミングしたもので、本を紹介したり推薦したりする活動です。単にあらすじや感想を伝えるだけでなく、コミュニケーションを取りながら相手を本の世界に巻き込み、豊かな感性や情操を養うことを目的としています。

TOPIC

募金のご案内

大妻古本募金

皆さまのお手元にある不要になった書籍類（書籍・DVD・CD等）の売却額が全額大妻学院への寄付金となる仕組みです。いただいた寄付金は、大妻学院の学生・生徒の学習、教育・研究を支援するために役立てられます。

STEP 1

書籍をダンボール・紙袋に詰めます。

※古本は5冊から、送料無料で受け付けます。一回の送付につき、段ボール箱3箱までとなります。
※裏表紙などにISBNコードがついている書籍、背表紙などに規格番号のついたDVDやCD、ゲームなどが買い取り対象となります。
※2010年以前出版の本は以下の「おためし査定」でゼロ円でないことをご確認ください。
(右のQRコードからもアクセス可能です。)



<https://www.valuebooks.jp/estimate/guide>

STEP 2

申し込む。

(申込はWEBからのみとなります。)

① チャリボンWEBサイトの大妻学院にアクセス
(右記QRコードからもアクセス可能です。)

<https://www.charibon.jp/partner/otsuma-u/>



② ページ最下部の「本で寄付する」をクリック
③ お申し込みフォームに必要な事項を入力し送信。無事、送信できたらお申し込み完了です。

STEP 3

買取相当額が大妻学院に寄付されます。

皆様からのご寄付が学生・生徒の学習、教育・研究支援につながります。
※買取価格は需要と供給で決まるため、寄付していただいた本の状態が良くても値段がつかないこともありますので、ご了承ください。

株式会社バリューブックス ☎0120-826-295 [古本の集荷・仕分け・査定はバリューブックスが行います。]
取り扱い古本の内容などは、こちらにお問い合わせください。]

〒386-0041 長野県上田市秋和 537 E-mail: info@charibon.jp URL: <https://www.valuebooks.jp/> 古物商免許: 長野県公安委員会第481100800018号

大妻講堂修繕支援募金

本学のシンボルの一つであり、イベントなどで地域の皆さまにも親しまれてきた「大妻講堂」が、老朽化に伴い大規模修繕を実施します。総工費は約7億円で、その費用に充てる寄付「大妻講堂修繕支援募金」を募っています。厳しい情勢のところ恐れ入りますが、どうかご支援をご検討くださいますようお願いいたします。



● 募集概要

募集期間	2021年6月1日～2024年3月31日		
目的	大妻講堂の老朽化した椅子の更新費等へ充当するため。	目標額	5,000万円
寄付金額	個人5,000円以上、法人30万円以上 ※寄付金額に満たない場合でも受付します。寄付金額の上限はありません。		
申込方法	本学ホームページをご参照ください。		
特典・顕彰	寄付者のご芳名を本学ホームページ「寄付者ご芳名」および寄付者銘板（講堂内もしくは外に設置予定）に掲載します（※匿名希望の方は除く）。寄付金額に応じ、新しい椅子の背板に芳名プレートを設置します。		



学校法人大妻学院財務センター寄付・募金グループ ☎03-5275-6407

E-mail: kifu@ml.otsuma.ac.jp URL: <https://www.otsuma.jp/donation/auditorium>

